

- ふじみ野市役所……………〒356-8501 埼玉県ふじみ野市福岡1-1-1 TEL049-261-2611 FAX049-266-6245
- ふじみ野市大井総合支所…〒356-8555 埼玉県ふじみ野市大井中央1-1-1 TEL049-261-2811 FAX049-266-6271
- ふじみ野市役所出張所……………〒356-0006 埼玉県ふじみ野市霞ヶ丘1-2-7 TEL049-261-0353 FAX049-261-0785

予算

令和2年度上半期(4月1日～9月30日)の財政状況をお知らせします

市の財政運営の状況を広く市民の皆さんにお知らせするため、財政状況を年に2回公表しています。

令和2年度ふじみ野市一般会計は、当初予算414億1,453万5千円でしたが、その後7回にわたり編成された補正予算により、140億2,838万円増額し、これに前年度からの繰越事業費の20億6,015万8千円を加え、総額は575億307万3千円で運営しています。9月30日時点での収入済額は298億6,481万9千円で予算に対する収入率は51.9%、支出済額は、282億9,446万3千円で支出の執行率は49.2%です。前年度同時期と比較して、収入率は9.2ポイントのプラス、支出の執行率は10.4ポイントのプラスとなっています。

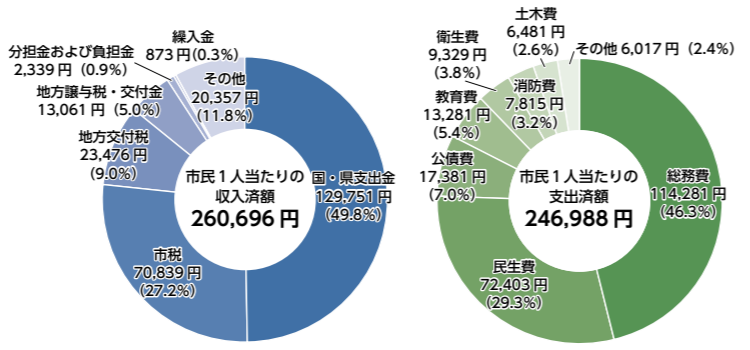
歳入 収入済額 298億6,481万9千円 (収入率51.9%) **一般会計** 予算現額 575億307万3千円 **歳出** 支出済額 282億9,446万3千円 (執行率49.2%)

項目	収入率	執行率	項目	執行率
市民税、固定資産税など皆さんが納めた税金	49.5%	80.2%	総務費	
国や県から譲与、交付されるお金	51.8%	42.7%	民生費	
国から人口や税収などに応じて配分されるお金	70.0%	32.8%	衛生費	
市が行う事業により利益を受ける方が負担するお金	23.7%	13.8%	土木費	
国や県から使い道を指定して交付されるお金	64.9%	63.2%	消防費	
市の基金や特別会計から一般会計に繰り入れるお金	9.9%	27.9%	教育費	
市が事業を行うための資金として借りたお金	0%	49.1%	公債費	
使用料、手数料、財産収入、寄附金、繰越金など	44.4%	31.4%	その他	

◆地方債の残高

会計名	残高	市民1人当たりの残高
一般会計	380億9,704万1千円	332,557円
水道事業会計	17億6,242万5千円	15,385円
下水道事業会計	26億9,070万9千円	23,488円
合計	425億5,017万5千円	371,430円

◆市民1人当たりの収入済額・支出済額



※令和2年9月30日現在の人口：114,558人。

特別会計・企業会計

会計名	歳入			歳出		
	予算現額	収入済額	収入率	予算現額	支出済額	執行率
特別会計						
国民健康保険特別会計	94億7,513万4千円	44億178万5千円	46.5%	94億7,513万4千円	41億8,491万8千円	44.2%
介護保険特別会計	82億7,295万3千円	39億9,217万1千円	48.3%	82億7,295万3千円	30億2,685万2千円	36.6%
後期高齢者医療事業特別会計	13億6,315万6千円	5億137万4千円	36.8%	13億6,315万6千円	4億3,881万9千円	32.2%
企業会計						
水道事業会計	17億8,829万2千円	5億7,136万9千円	32.0%	17億5,742万1千円	4億8,111万9千円	27.4%
下水道事業会計	2億3,784万円	0円	0.0%	8億2,024万6千円	1億5,486万2千円	18.9%
下水道事業会計	17億5,785万9千円	2億6,803万1千円	15.2%	16億412万2千円	2億2,932万9千円	14.3%
下水道事業会計	3億6,829万9千円	223万9千円	0.6%	6億434万7千円	2億9,563万3千円	48.9%

問合せ●財政課 (TEL262・9004)

感染症対策

新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行に備えましょう

インフルエンザが流行する季節です。ことしは新型コロナウイルス感染症の流行と併せて予防しましょう。

インフルエンザの予防には、ワクチンの接種も有効ですが、十分な休養やバランスの取れた食事、マスク着用、手洗い、アルコール消毒、ソーシャルディスタンス、適度な湿度と換気

	インフルエンザ	新型コロナウイルス
流行期	12月～3月頃	1年中
感染経路	飛沫感染、接触感染	
特徴的な症状	急な発熱（通常38℃以上の高熱）、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛、のどの痛み、咳、鼻水など	多様な症状（無症状の場合もあり） 〈例〉発熱、咳、頭痛、倦怠感、息苦しさ、味覚障害など
潜伏期間	1～3日くらい	1～14日くらい

発熱などの症状がある場合の受診方法が変わりました

身近な医療機関で、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザ両方の診療・検査ができるようになりました。

発熱などの症状がある場合には「埼玉県指定診療・検査医療機関」の連絡先や受付時間などを確認し、事前に予約の上、受診してください。医師の判断で、必要に応じて、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの検査などを行います。

●埼玉県指定 診療・検査医療機関は県ホームページ (QRコード) をご覧ください。

※ホームページを見られない場合は、各センターにお問い合わせください。

受診・相談センター (TEL) 048・762・8026
※祝日除く月～土 午前9時～午後5時30分。

県民サポートセンター (TEL) 0570・783・770
※24時間・土日祝日も受付。

問合せ●保健センター (TEL) 264・8292

新型コロナ対策

無症状の高齢者などが受けるPCR検査費用を助成します

新型コロナウイルスに対する無症状感染者を早期に発見し、適切な治療につなげることは、感染症のまん延防止の効果が期待できます。皆さんの不安を少しでも解消するため、重症化するリスクの高い高齢者と感染予防に努める必要がある施設で業務に従事している人に、保険が適用されない自費診療のPCR検査の費用を一部助成します。

申込方法 3月19日(金)まで(消印有効)に郵送(件名「PCR検査希望」、氏名(ふりがな)、生年月日、住所、電話番号、対象②は勤務先名・所在地も記入)か電子申請(QRコード)で申し込む

※感染症対策のため、窓口での申請はできません。

※必ず検査を受ける前に申請が必要です。

対象 次の①②のどちらかに該当し、市内に住所登録がある無症状の人が、本人の希望により行うPCR検査

①来年3月31日までに65歳以上になる人

②市内の施設で従事する医療従事者・介護従事者、学校等関係職員、未就学児施設関係者等、社会の機能を維持するために就業が必要な人

受診方法 申請者に郵送する受診券と本人確認書類を医療機関に提示し、医師の指示に従い検査する

※受診券は、郵送までに2週間程度かかりますので、検査希望時期に間に合うように申請してください。

※医療機関に予約の必要はありません。

検査実施期間 12月1日(火)～来年3月31日(水)

検査実施医療機関 ふじみの救急クリニック(三芳町)

助成回数 1回

自己負担 5,000円(生活保護受給者は無料)

支払方法 検査後、医療機関の窓口で自己負担金を支払う

※陽性の場合、助成対象ではなく、保険診療の自己負担金の支払いが生じます。

問合せ●保健センター (TEL) 262・9040

令和元年度決算報告

ふじみ野市の家計簿をお知らせします

令和元年度決算が令和2年9月議会で認定されました。

収入 390億7,569万4,323円(-7.1%) 一般

※()内は前年度比。

割合	金額	種別	内容	主な増減理由
42.6%	166億3,365万5,504円(+1.3%)	市税	市民税(個人・法人)、固定資産税など	人口の増加や新築家屋の増加による増
	88億8,723万138円(+5.9%)	国・県支出金	国や県から目的に応じて交付されるお金	幼児教育・保育無償化の開始に伴う国庫支出金の増
	39億6,359万1,000円(+7.2%)	地方交付税	一定の基準で国から交付されるお金	合併特例債などの償還による交付税補填分の増
22.7%	24億6,457万2,629円(+3.8%)	地方譲与税・交付金	国や県から譲与、交付されるお金	子ども・子育て支援臨時交付金の増
10.1%	21億1,079万9,000円(-63.7%)	地方債	市が事業を行うための資金として借りたお金	地域振興基金造成やスポーツ施設整備の完了などによる借入金の減
6.3%	11億2,385万369円(-19.9%)	繰入金	市の基金(積立金)や他の会計から一般会計に繰り入れるお金	国民健康保険特別会計繰入金の減
5.4%				
2.9%				
10.0%	38億9,199万5,683円(-1.3%)	その他	使用料、手数料、財産収入、寄附金、繰越金など	保育所保育料の減

会計 371億4,152万8,349円(-8.0%) 支出

※()内は前年度比。

割合	金額	種別	内容	主な増減理由
47.2%	175億2,649万7,358円(+3%)	民生費	高齢者・障がい者・子育て支援など福祉全般	幼児教育・保育無償化の開始に伴う関連経費の増
	41億1,408万8,453円(+6.9%)	公債費	借りたお金(地方債)の返済金	地域振興基金造成のために借り入れた地方債の償還が始まったことによる増
	37億8,608万2,570円(-11.1%)	教育費	小・中学校や図書館、社会教育など	上野台小学校校舎の増設完了による減
11.1%	32億3,472万6,860円(-14.9%)	総務費	財産管理、コミュニティ推進、職員の人件費など	スポーツセンター弓道場整備工事の完了による減
10.2%	27億7,520万5,725円(+2%)	衛生費	ごみ処理、各種予防接種、検診など	一般廃棄物収集運搬業務委託料の増
8.7%	24億6,845万8,367円(-15.2%)	土木費	道路、公園、交通安全施設の維持管理や整備など	ふじみ野市運動公園既存部整備工事および公園用地取得の完了による減
7.5%	13億5,358万9,525円(-4.4%)	消防費	消防や救急、災害が発生したときの活動など	集中管理型防災倉庫の整備完了による減
6.6%				
3.6%				
5.1%	18億8,287万9,491円(-57%)	その他	議会費、労働費、農林水産業費、商工費、諸支出金	地域振興基金積立金の減

財政健全化判断比率・公営企業資金不足比率

いずれも健全な状況です。

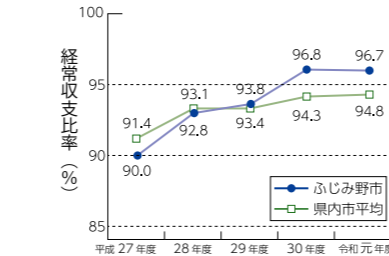
指標名	ふじみ野市	早期健全化基準	財政再生基準	用語説明
実質赤字比率	—	12.28%	20.00%	一般会計における赤字の程度を指標化し、財政運営状況の深刻度を示すもの
連結実質赤字比率	—	17.28%	30.00%	市全体での赤字の程度を指標化し、財政運営状況の深刻度を示すもの
実質公債費比率	2.2%	25.00%	35.00%	一般会計が負担する地方債の償還金などの大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示すもの
将来負担比率	—	350.0%	—	市全体で今後支払わなければならない負債の大きさを指標化し、将来の財政を圧迫する度合いを示すもの

会計名	資金不足比率	経営健全化基準	用語説明
水道事業会計	—	20.0%	公営企業会計ごとの資金の不足額の度合いを表す指標で、経営状態の深刻度を示すもの
下水道事業会計	—	20.0%	同上

※実質赤字比率と連結実質赤字比率は黒字のため、将来負担比率と資金不足比率は発生していないため「—」と表示。

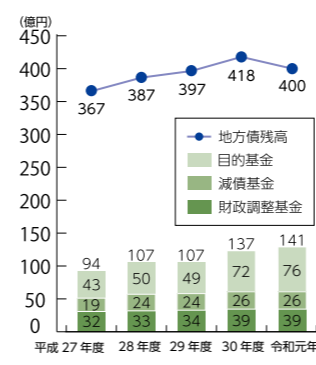
経常収支比率

県内市平均より硬直化がすすんでいます。



【用語説明】経常収支比率＝財政構造の弾力性を判断する指標で、数値が低いほど予算編成の自由度が高いことを示すもの

地方債残高と基金残高



一般会計の地方債残高は400億円で、前年度に比べ18億円減りました。令和元年度に借入れを予定していた上福岡駅前駅前広場整備事業債などが令和2年度に繰り越されたことが主な要因です。本年度は文化施設のふじみ野ステラ・イーストの建設などに地方債を活用するため、地方債の残高は増加する見込みです。一方、これからの借金の返済、老朽化した公共施設の整備などのために計画的に積み立てている基金の残高は141億円となっています。

特別会計・企業会計

特別会計	会計名	収入	支出
●特別会計	国民健康保険特別会計	101億7,390万2,827円	98億7,613万1,267円
	介護保険特別会計	74億4,956万1,953円	71億8,554万8,185円
	後期高齢者医療事業特別会計	12億9,713万7,247円	12億9,566万6,359円
●企業会計	水道	17億9,309万8,344円	16億2,687万3,786円
	事業会計 資本的収支	1億1,768万円	5億6,030万1,922円
	下水道	17億2,359万4,424円	15億3,217万87円
	事業会計 資本的収支	2億5,663万7,189円	5億185万101円

- 民間グループホームの整備補助事業 467万1千8千円
入所希望者が多い認知症対応型共同生活介護事業所の整備を行う法人に対し、整備費および開設準備経費の補助を行いました。
- 放課後児童クラブの運営事業 4億671万9千9千円
西放課後児童クラブの整備および第3・4上野台放課後児童クラブの新設を行うことと、就労などにより保護者が昼間家庭にいない小学生に、発達段階に応じた主体的な遊びや生活の場を提供しました。
- 認可保育園の運営委託・補助事業 25億634万4千円
保育園の健全運営と質の高い保育の提供、多様な子育て支援事業を支えるため、認可民間保育園(認定こども園含む)17園と小規模保育施設などの運営や各種事業に対して補助を行いました。
- 幼児教育の補助事業 2億939万4千2千円
幼児教育の振興に資するため、私立幼稚園の就園補助や幼児教育無償化による保護者の費用負担の軽減を図りました。
- 運動公園整備事業 4億1029万1千円
旧福岡高校跡地にある第2運動公園では野球場やサッカー場としても利用できる多目的球場などの整備工事が完了しました。また、ふじみ野市運動公園の拡張部分では公園の整備工事を完了しました。
- 小学校施設の大規模改造 5億708万9千円
老朽化した小学校の校舎全体を改修するため、計画的な大規模改造工事を行いました。駒西小学校は工事全体が、西小学校は第1期工事が完了しました。

令和元年度の主な事業
 令和元年度の一般会計における決算額は歳入が380億7,569万4千円、歳出は371億4,152万8千円です。歳入と歳出の差額から、翌年度に使用道が決まっている財源を差し引いた実質収支は、13億9,935万円の黒字となりました。平成30年度決算と比較すると、歳出では民生費の幼児教育・保育無償化に伴う関連経費の増額や商工費のプレミアム付商品券事業などによる増額がありましたが、地域振興基金造成のための積立金などが減少したため全体として32億9,861万1千円の減額となりました。歳入では、市税の2億8,388万8千円の増額に加え、地方交付税、国庫支出金なども増額となりましたが、地域振興基金の造成が完了したことなどにより地方債が37億1,095万6千円の減額となるところから、全体として29億7,503万1千円の減額となりました。